

ナベショー 産廃中間処理の許認可 「もうカッター」が取得

製鋼原料専門商社の大手、ナベショー(本社 大阪府中央区、渡邊 泰博社長)が販売する「もうカッター」を導入

した岡山市のごみ処理業者がこのほど、産廃

廃棄物・中間処理(切断(定置式・移動式)の

認可を受けた。中間処

理取得には各種廃棄物

に対応した処理設備を

導入するケースが一般的

だが、今回は「もう

カッター」が中間処理

の切断設備として認可

された形となった。

中間処理ではゴミを

焼却・破碎・選別をす

ることで減容し、最終

処分場に埋め立て後も

環境に悪影響を与えな

いように処理する。鉄

やアルミ、ガラスなど

再資源として利用でき

るものを選別回収する

役割も大きく、中間処

理場の大半は破碎や切

断加工する処理設備が

導入されている。

『もうカッター』は、

上下2枚のカッター刃

に日本刀の反りと刃角

(70度)を与えて鋭い

切れ味を実現したアタ

ッチメント式の切断

機。重機に装着して使

用する。

H型钢やステンレス

等に対応する一方、廃

プラスチック類や木

屑、また、大型の処理

設備では切断の難しか

ったビニールや繊維な

どの薄い材質にも適し

ていることが中間処理

の認可につながった。

販売価格は300万

1500万円前後と、

導入費用は据え付けの

切断加工設備に比べて

格安。現在、『もうカ

ッター』の販売台数は

150台に迫るなど、

販売開始以来の売れ行

きは依然として好調

で、今回の許認可取得

でさらに弾みがつきそ

うだ。